

公の施設の指定管理者審査表(障害者福祉センター)

審査項目		審査の視点	審査結果
(1) 施設 効用の最 大化	①設置目的 等の達成	・設置目的やビジョン等に合致した理念・ 管理運営の基本方針を持っているか。	要求水準を満たしている
		・設置目的やビジョン等を効果的・効率的 に達成できる事業計画が提案されている か。	要求水準を満たしている
	②利用促進 に資する方 策	・提案内容は、施設効用を最大限発揮でき る効果的なもので実現可能性は高いか。	要求水準を満たしている
		・施設の利用率の向上、利用者数の増加 に資する取組が具体的に提案されている か。	要求水準を満たしている
	③利用者の 満足度及び 利便性向上 に資する方 策	・職員の丁寧な接客対応や団体活動の活 性化や施設の貸出増等について、利用者 の満足度を高める取組が具体的に提案さ れているか。	要求水準を満たしている
		・利用者のニーズを把握し、運営に反映さ せる仕組みを構築しているか。	要求水準を満たしている
		・利用者が意見や苦情を述べやすい環境、 それらに適切に対応する仕組みを構築し ているか。	要求水準を満たしている
		・市民や利用者が情報を得やすいよう、情 報提供方法を工夫しているか。	要求水準を満たしている
	④各部門へ の取組	・武蔵野市障害者福祉センター管理部門、 通所支援部門(生活リハビリサポートすば る)、相談支援部門(障害者相談支援事業 所ほくと)について、具体的に企画されて おり、実現可能性は高いか。	要求水準を満たしている
	⑤市の政策 及び地域と の連携	・市の施策、方針及び取組と連携を図れる 仕組みを構築しているか。	要求水準を満たしている
・地域との連携・協働、地域貢献につな がる取組が具体的に提案されているか。		要求水準を満たしている	

審査項目		審査の視点	審査結果
(2) 効率的な経費執行	① 指定管理料	・適正な指定管理料といえるか。	要求水準を満たしている
	② 経費節減への取組及び適正な収支計画	・経費節減に対する具体的かつ効果的な取組が提案されているか。	要求水準を満たしている
		・収支計画に妥当性・実現可能性があるか。	要求水準を満たしている
(3) 安定的・確実な業務の履行	① 管理運営能力	・管理運営に必要な専門性を有しているか。	要求水準を満たしている
		② 実施体制	・ノウハウを有する職員を適正に配置しており、業務ごとの責任体制が明確か。
	・市と円滑な連絡・十分な連携・意思疎通ができ、指示系統が明確であるなど、業務を滞りなく進めるための体制が構築されているか。	要求水準を満たしている	
	・職員によってサービス水準に格差が生じないように、マニュアルの作成や研修を行っているか。	要求水準を満たしている	
	・現在の職員の継続雇用について配慮しているか。	要求水準を満たしている	
	・事件、事故、災害等の緊急事態が発生した場合の危機管理体制(対応方針やマニュアル等の整備、防災訓練の実施等)は適切か。	要求水準を満たしている	
	・建物・設備・備品の保守点検等の計画、確認・検収の体制を整備しているか。	要求水準を満たしている	
	③ 安定的な経営基盤	・安定的な管理運営が実施可能な経営体制、経営体力を有しているか。 ・透明性の高い経営・適切な情報開示がされているか。	要求水準を満たしている

過去4年間のモニタリング評価結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合評価	B	B	B	B
モニタリング 評価委員会講評	期待どおりの適正な運営が行われている。 建物・設備の老朽化が進む中、ソフト面での市民サービス向上に努めている。			

上記審査の結果、社会福祉法人武蔵野を指定管理者候補者として決定した。

指定理由

社会福祉法人武蔵野は、平成4年の設立以後、障害・児童・高齢の様々な分野において福祉事業を展開しており、本市の福祉施策に欠くことが出来ない地域資源として機能している。

武蔵野市障害者福祉センターでは平成29年度の指定管理者制度導入当初から指定管理者として、障害者団体やボランティア団体の活動支援、障害者講習会等の事業及び各種障害福祉サービスを提供し、障害のある方への支援の拠点としての役割を果たし、モニタリング評価においても期待どおりの適正な施設運営を行っていると評価している。

今後予定している改築事業にも積極的に参画し、新時代の障害福祉の拠点を運営するという面での知見を備えていることを示しており、今後も同施設の運営において十分な成果が期待できる。